

中浜直之主任研究員



チョウやハチが花に来る姿は、野山だけでなく庭先でもよく見かける風景です。こうした昆虫Ⅱ写真①Ⅱは花で主に蜜や花粉を食べる、つまり食事に来ているのです。植物にとっても大きなメリットがあり、昆虫の体に花粉を付着させて、花粉を運んでもらっています。花粉を昆虫に運んでももらえないと、多くの植物は種子を付けることができないわけですから、花に来る昆虫は植物にとっても大事な存在です。

こうした昆虫たちは農作物生産にも欠かせません。野生のハ

ナバチ類による農作物生産だけに注目しても、日本全国で年間3300億円もの経済効果を持つっていると推定されています。もちろん、チョウやハナバチだけでなく、ガやハナムグリ、ハナアブなども植物の受粉に貢献していて、これらを含めるとさらに大きな経済効果と予想されています。

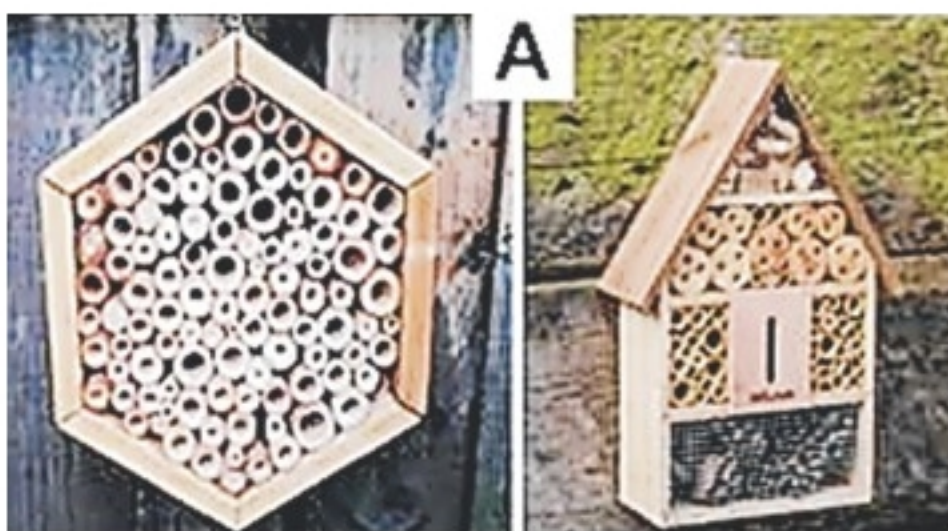
しかし、こうした花に来る昆虫の減少は現在、世界的に深刻な問題となっています。日本でも、調査したチョウ類のうち3分の1の種類が、過去20年近くで大幅に減少したことが報告されていますし、アメリカでも過去20年間でチョウ類の22%が減少したことが報告されています。

①花の蜜を吸うベニシジミ



チョウ以外の昆虫では国内の報告が少ないものの、その多くが減少傾向にあるとされています。昆虫が減少した要因としては、土地開発などにより巣を作る場所の減少、餌資源となる花の減少のほか、最近では気候変動によって、昆虫の発生時期と開

昆虫の減少



②海外のビーホテル(Rahimi et al.2021より)

時、どの季節でも何かの花が咲いているようにすること、地元の在来植物を用いること、農薬や殺虫剤を使わないことが理想的です（こうしてみるとなかなか難しいですが…）。

また、木箱にたくさんの竹筒や葦簀の束を入れておくビーホテルⅡ写真②Ⅱを設置しておく、ハナバチやドロバチなどが巣を作ってくれます。これらが成功すると、チョウやハナバチがやってきてくれるようになります。

ハナバチの多くは毒針を持っておりすが、手づかみするなど、よほど強い刺激をしなければ、刺されることはまずありません。実際、昆虫に優しい庭づくりはヨーロッパではとても人気があります。皆さんも、昆虫に優しい庭づくりにチャレンジしてみませんか？

優しい庭が保護に一役